

授業科目 精神保健看護学演習

【担当教員名】 西川 薫	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
精神看護を実践するための具体的な知識と技法を修得する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 精神看護における対象関係論を理解する。
2. 対象者の人生を物語論的に関係づける。
3. 精神看護におけるセルフケアの意味を説明する。
4. プロセスレコードを通して自己理解、他者理解を実施する。
5. 事例検討を通して対象者を多角的に理解し看護の方向性について討議する。
6. 対象者に応じた看護目標を設定する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1-6	—事例— 統合失調症患者が抱えている日常生活の障害 —日常生活に障害を持つ人の看護—	1-6	P B L
	—事例— うつ病患者が抱えている日常生活の障害 —対人関係論を活用した看護—	1-6	P B L
7	精神看護における対象関係論	1	講義
8	対象者の理解Ⅰ（成育史的視点）	1-6	講義、ビデオ
9, 10	援助技法としてプロセスレコード	1-6	講義、グループワーク
11	対象者の理解Ⅱ（発達段階的視点）	1-6	講義、ビデオ
12	家族システムとそのダイナミクス	1-6	講義
13	主な精神疾患看護（気分障害、神経症圏の障害、摂食障害、人格障害、依存症）	1-6	講義
14	精神医療の歴史 精神看護学理論（ペロウ、ウィーデンバッグ、トラベルビー、オレム・アンダーウッド）	1-6	講義
15	感情と看護	1-6	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神看護学ノート 第2版	武井麻子	医学書院	2005年 2,000円＋税
	改訂 精神看護学	宮本真巳	中央法規	2006年 2,600円＋税
参考書	系統看護学講座 専門26 精神看護学[1]	外口玉子・中山洋子他	医学書院	2007年 2,000円＋税
	系統看護学講座 専門27 精神看護学[2]	外口玉子・小松博子他	医学書院	2007年 2,000円＋税
	援助技法としてのプロセスレコード	宮本真巳	精神看護出版	2005年 2,500円＋税
その他の資料	プリント類 ビデオ			

【評価方法】 レポート・・・10% 出席状況・・・10% 定期試験・・・50% P B Lへの取り組み・・・30%	【履修上の留意点】 PBL、プロセスレコードの検討では積極的な意見交換をおこないます。
--	---

看護学
科
専
門